

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

令和 7 年 4 月吉日

各 位

軟弱地盤研究会（第 202 回）のご案内

軟弱地盤研究会

会長 日野剛徳

日 時：令和 7 年 4 月 17 日（木） 14 時～ 16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室

（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）

<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>

駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話 題：自動水平ジェットグラウトシステムとグラウト柱状体径の人工知能による予測

講演者：沈 水龍 教授（Professor SHEN Shuiling）

中国・汕頭大学（Shantou University）／中国・上海交通大学（Shanghai Jiao Tong University）

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

ジェットグラウトシステムにおける：1) ジェットグラウト流の効率；2) 自動水平ジェットグラウトシステム；3) グラウト柱状体径の人工知能による予測について紹介する。

ジェットグラウト流の効率について、ジェット流の効率に対するノズル構造の影響について述べる。現場実験、数値シミュレーションおよび多基準決定分析の面から検討し、技術に実装した。ジェットグラウト流の効率について、周囲環境に及ぼす影響低減させるための新たな水平ジェットグラウト装置を提案するとともに、中国・上海においてその実証に臨んだ結果について述べる。グラウト柱状体径の人工知能による予測について、グラウト柱状体径を予測するための双方向長短期間記憶（Bi-LSTM）ネットワークについて述べる。

※参加希望の方は 4/14（月）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聡容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地（公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603